

NEWS RELEASE

<<http://www.takara-bio.co.jp>>

平成29年7月13日

T B 1 7 - 0 6 4 5

免疫細胞受容体解析用試薬・キットの販売を開始

タカラバイオ株式会社は、免疫細胞の一種である B 細胞が発現する受容体 (B cell receptor: BCR) 遺伝子を、次世代シーケンサーを用いて網羅的に解析する研究用試薬・キット「SMARTer Mouse BCR IgG H/K/L Profiling Kit」を、本年7月14日より日本国内で販売開始いたします。

B 細胞は体外から細菌やウイルスなどの異物が侵入してくると抗体と呼ばれるタンパク質を生産し、これにより異物を特異的に認識して除去します。異物には抗原と呼ばれる、異物を特徴づける分子 (マーカー) が存在することが知られており、B 細胞は抗原を認識する BCR を細胞表面に発現します。多種多様な抗原に対して、B 細胞は抗原特異的な BCR を発現するため、BCR 遺伝子を解析することにより、生体内での免疫応答システムの解明に繋がると期待されています。

本製品では、独自技術である SMART®技術を用いて、B 細胞由来の 10ng 程度の超微量 RNA サンプルから高精度な次世代シーケンス解析の前処理 (ライブラリー作製) が行えます。また、BCR 遺伝子の抗原特異性のある可変領域をターゲットとして遺伝子増幅するため、高感度で再現性の高い B 細胞レパトア解析が可能です。白血病などの治療後のモニタリングや抗体医薬開発における抗体遺伝子のスクリーニングなどに使用することができます。

当社は超微量サンプルを出発とする次世代シーケンス解析などの製品・サービスの開発に注力しており、新製品や新サービスの提供を通じて、本分野でのさらなる事業拡大を目指します。

【製品概要】

製品コード	製品名	容量	希望小売価格 (税別)
634422	SMARTer Mouse BCR IgG H/K/L Profiling Kit	12 回	180,000 円
634423	SMARTer Mouse BCR IgG H/K/L Profiling Kit	48 回	580,000 円
634424	SMARTer Mouse BCR IgG H/K/L Profiling Kit	96 回	920,000 円

本製品の詳細やご購入については、当社営業部 営業企画担当 (TEL:077-565-6972) までお問い合わせください。

当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

この件に関するお問い合わせ先
タカラバイオ株式会社
広報・IR 部
Tel 077-565-6970

< 参考資料 >

【語句説明】

次世代シーケンス

従来のサンガー法を基にしたシーケンスとは異なる原理に基づいた塩基配列解析法で、数百から数億個の塩基配列データを並列に大量取得する塩基配列解析方法です。次世代シーケンスにより、人の全遺伝子、全ゲノムの塩基配列解析が可能となりました。

B 細胞

特定の抗原の刺激に応じて抗体産生を行う細胞で、B リンパ球とも呼ばれます。B 細胞の一部は、抗原の情報を記憶した細胞として体内に残り、次に同じ抗原に感染した時にはすぐに抗体が産生されます。

SMART®技術

Switching Mechanism at 5' End of RNA Template の頭文字を取って SMART®と呼んでいます。PCR アダプター配列を直接付加して完全長 cDNA 合成できるため感度が良く、超微量の核酸サンプルからのライブラリー作製が可能です

レパトア解析

免疫細胞である T 細胞や B 細胞の細胞表面に発現する受容体を、次世代シーケンサーを用いて網羅的に解析することを言います。T 細胞や B 細胞は、様々な抗原を認識するために多様な受容体を細胞表面に発現し、免疫システムを構築しています。免疫細胞を含む腫瘍部位等より抽出したサンプルから受容体遺伝子を網羅的に解析することで、がん診断や新たながん免疫療法の開発などへの応用が期待されています。